

氏名	熊谷 圭知 KUMAGAI Keichi
所属 職名	人間文化創成科学研究科人間科学系 教授
学位	社会学修士（1981 一橋大学）
専門分野	社会文化地理学 オセアニア（パプアニューギニア）地域研究
URL	
E-mail	kumagai.keichi@ocha.ac.jp

## 研究者キーワード / Keywords

地域  
開発  
ローカル／グローバル  
ジェンダー  
パプアニューギニア

area/region  
development  
local/global  
gender  
Papua New Guinea

## 主要業績

熊谷圭知・片山一道編（2010）『オセアニア』（朝倉世界地理講座）、朝倉書店。執筆箇所：1）序章「オセアニアという世界」、pp.7-17. 2）6.3「パプアニューギニア??地域的多様性から地域格差へ」、pp.247-263.

小林誠・熊谷圭知・三浦徹編（2011）『グローバル文化学??文化を越えた協働』法律文化社。執筆箇所：1）第7章「グローバル化の中で日本の空間はどう変わるか」、pp.123-141. 2）終章「グローバル化は私たちに何を問うているのか」、pp.195-198.

熊谷圭知編（2011）『ローカル・センシティブな「開発とジェンダー」研究の構築をめざして』（2006?08年度科研費研究成果報告書、お茶の水女子大学

## 研究内容 / Research Pursuits

テーマ1：パプアニューギニア地域研究 2011年3月5日?16日、東セピック州、クラインビット村調査 テーマ2：ジェンダーと開発と男性（性） 1）2010年7月にイスラエルで開催された国際地理学会に参加、「ジェンダーと地理学」研究委員会(7月8日?10日、エルサレム郊外のエンカレムにて開催)において、下記の報告を行った。Floating Japanese Men, Masculinities and National Integrity 日本経済の変容の中で浮遊する男性性と国家・ナショナリズムの関係を論じ、多くの反響を得た。 2）2010年11月21日の人文地理学会大会（奈良教育大学）にて、下記の報告を行った。草食系男子・オタク・ブ◆（ネオ）ナショナリスト??変容する日本の男性性と地理的想像力の行方 7月の国際地理学会での報告にインタビューを加えた発展版である。

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

<学部> 文理融合リベラルアーツ「生命と環境」9「地域と風土」、文理融合リベラルアーツ「ジェンダー」23「開発・社会変動とジェンダー」、フィールドワーク方法論、オセアニア社会文化論?・?、歴史・文化地理学演習?、地域研究実習?・?、社会地理学演習? <大学院> (博士前期) 社会環境学、開発地域文化論演習 (博士後期) 地域研究論、同演習 地域研究実習?では、非常勤講師の小田隆史君とともに、群馬県太田市・大泉町を対象に、受講生を連れて2泊3日のフィールドワークを行った。

## ■ 研究計画

## ■ メッセージ

2011年3月11日の東日本大震災は、私たちの生活世界に根本的な転換を迫るものでした。グローバル化や世界市場に合致するべく構築された私たちの経済・社会・制度が、全土に活断層が走り海岸線が長い日本列島という環境とそれを利用するローカルな風土性の上に成り立っていることを痛切に思い知らされたからです。私はこの時、パプアニューギニアの辺境の村にいて、ラジオを聞いた村人から最初のニュースを知らされ、翌日携帯電話の届くエリアまで移動してはじめてその被害の様相を確認しました。私たちはグローバルな世界に生きながら、ローカルな場所に関わり、制約されて暮らしています。原子力エネルギーに依存した成長経済に無批判に身を委ねるのではなく、ローカルな場所と環境の関わり、風土性に根差した共有資源（コモンズ）や連帯経済をいかに再構築するか、といったテーマを自覚的に追究していく時代にさしかかっていると感じています。こうしたテーマを一緒に追究しようという、想像力にあふれる学生の皆さんに期待しています。